



令和7年度の取組



県立北茨城特別支援学校

1 地域との協働活動について

4校合同作品展「つながる@きたいばらき」

連携した学校

中郷第二小学校・中郷中学校・日立北高等学校

11月27日(木)～30日(日)に北茨城市生涯学習センター分館「期待場」で作品展を開催した。本校と学校間交流をしている中郷第二小学校(2年生)と中郷中学校(1年生)、日立北高美術部の作品と一緒に全校児童生徒の作品を展示した。地域の方の来館もあり、4日間で合計250名の方々とアートをとおして“つながる”ことができた。



回覧(学校だより)

ご協力いただいた
地域の方

小野矢指地区会様
富士ヶ丘地区様

本校の学習の様子や今後の校外での活動予定を掲載した「つながる@きたとく」を5号まで発行(1月8日現在)し、小野矢指地区と富士ヶ丘地区で回覧していただいた

景観写生会(コスモス) [中学部]
9月9日(火)



地域での主な活動予定



コスモス鑑賞会 [高等部2年]
9月18日(木)



令和8年1月8日発行 第5号

県立北茨城特別支援学校

つながる@きたとく



地域と学校のつながりをより深めていくための広報誌「つながる@きたとく」第5号では、合同作品展や地域の方と歩こう、大規模避難訓練、学校公開の様子についてお知らせいたします。

期待場での4校合同作品展(中郷中学校1年生、中郷第二小学校2年生、日立北高等学校美術部、本校)を行いました。11月27日(木)から30日(日)まで、北茨城市生涯学習センター分館(期待場)に來館された延べ人数は250人を超えました。まるで、期待場の館内が、富士ヶ丘地区のコスモス畑の中のように感じられました。画用紙いっぱいにはいた花は、とても素敵な作品でした。

4校合同作品展
11月27日から30日



地域の方と歩こう
11月25日(火)



小学部1、2年生がやさしサロンの方と地域を散歩しました。



大規模避難訓練
11月21日(金)



【3学期の地域での主な活動】

監染めに挑戦 高等部1年生 | 冬景色を撮ろう(揚枝方地区) 高等部3年生
南中郷駅付近でのプランターの設置 小学部5、6年生

高年齢に高校までの5、1回を歩きました。



学校公開
11月19日(水)



高等部作業
製品販売
2×4ベンチ
新鮮野菜
クッション

お問い合わせ
〒319-1555
北茨城市中郷町小野矢指 1657
TEL:0293-43-2622 FAX: 0293-42-6546
E-mail:koho@kitaibaraki-sn.lbk.ed.jp

【本校ホームページ】
こちらから
お問い合わせ

<http://www.kitaibaraki-sn.lbk.ed.jp>



ランドスケープデザイン

ご協力いただいた
地域の方

芸術家 石渡 のりお様
石渡 ちふみ様

北茨城市の楊枝方地区で、休耕田に花種を蒔いて
景観保全活動に参加した



コスモス種蒔き



中学部と高等部2年生が景観鑑賞を行いました



ランドスケープデザイン



ご協力いただいた
地域の方

芸術家 石渡 のりお様
石渡 ちふみ様

北茨城市の楊枝方地区で、休耕田に花種を蒔いて
景観保全活動に参加した



里山体験（柿狩り）



菜の花種蒔きに向けて



菜の花種蒔き



ランドスケープデザイン

ご協力いただいた
地域の方

芸術家 石渡 のりお様
石渡 ちふみ様

北茨城市の楊枝方地区の冬の景色の景観を記録する活動を行った



生徒が撮影したArigatee周辺の
風景



小学部1・2年【生活】

ご協力いただいた
地域の方

やさしサロン 様

学校から南中郷駅周辺まで一緒に歩き、地域の様子と一緒に見たり、お不動様にお参りをしたりして、楽しく活動した



小学部5・6年【生活】

ご協力いただいた
地域の方

小野矢指地区の皆様

地域の方のご協力をいただき、学校で苗を植えた花のプランターを駅周辺に飾る活動を行った。

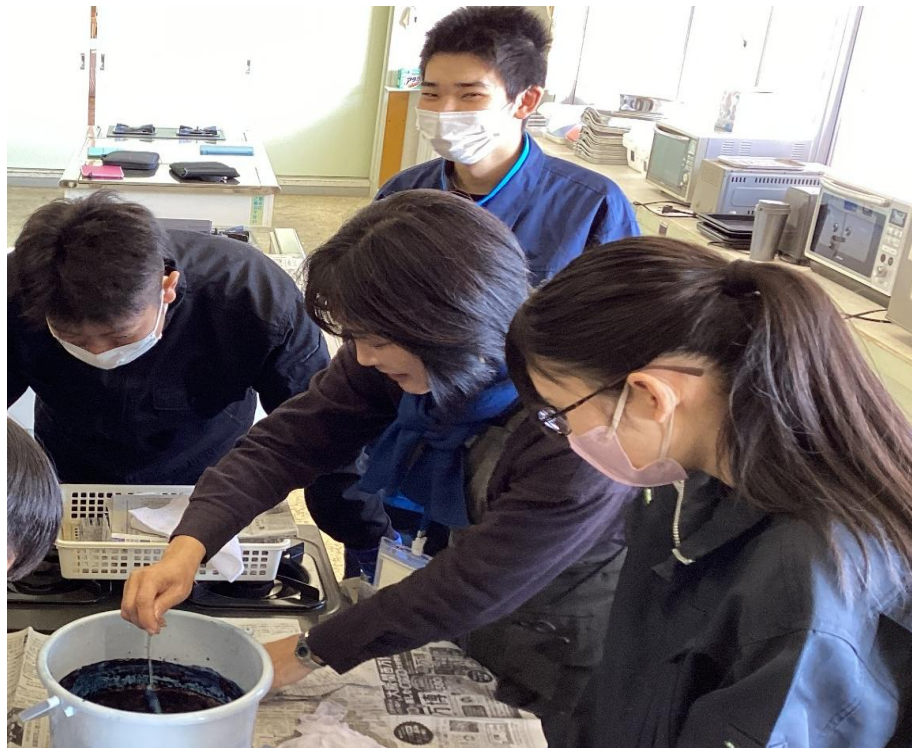


高等部1年【美術】

ご協力いただいた
地域の方

染色家 佐川 麻穂 様

1月13日(火)に染色家の佐川様にアドバイスをいただき、バンダナに藍染めをしました。模様や色合いの違いなどの染色の魅力を伝えていただきました。



高等部2年【美術】

ご協力いただいた
地域の方

芸術家 石渡のりお 様
石渡ちふみ様

11月4日(火)に芸術家:檻之汰鷺(石渡夫妻)さんと一緒に、コラージュ作品の制作を行いました。雑誌やチラシから好きな部分を切り取り、台紙に自由に貼り付けることの楽しさにふれることができた。



高等部サービス班【職業】

ご協力いただいた
地域の方

芸術家 石渡のりお 様
写真家 永沼 ケンタロウ様

フリーペーパー「KAMOS」に掲載する本校の紹介記事を作成した。本校ならではの「良さ」を「伝える」ため、記事や写真のポイントや留意点を教えていただいた。一緒に校内を回っていただき、写真を撮ったり、構成を教えていただいたりした。



2 目指す学校像・児童生徒像

について

Aグループ

視点：北茨城市教育委員会・生涯学習

- 〈社会から求められる姿とは〉
- ・ 児童生徒の良さを生かして社会に還元できるようにしたい。
 - ・ 「社会から求められる」のではなく、「子どもたちが社会を選ぶ」社会にしたい。

- 〈地域・学校で協働できること〉
- ・ 交流の場を広げ、継続して情報発信をしていくことで、インクルーシブ、ウェルビーイングな地域にしていけるとよい。
 - ・ 交流の方法もいつも同じではなく、毎年、改善アップデートしていく必要がある。

Bグループ

視点：企業・保護者

〈社会から求められる姿とは〉

- 基本はあいっ
- 笑顔
- 自分の良さ強みを生かす
- 周囲の見守りの大切さ

〈地域・学校で協働できること〉

- 直接の対話が大切である。
- あいさつのモデルケースを作る。
- 今ある行事等に+α（人や場所などを少しずつ変える等）
- P T A茶話会に、地域の方や教員も入ると様々な情報共有や顔を見知ることができるのではないか。

Cグループ

視点：芸術家・人権委員

〈社会から求められる姿とは〉

- 多様性、柔軟性
- 学校時代からの経験が大事
- 人とのかかわりが重要。広がりをもたせる。

〈地域・学校で協働できること〉

- 求められる児童生徒像を目指して、環境づくりを行う。
- 知らない人に合う経験が大切。
- 閉じられた場所から開かれた場所へ出る経験をさせてあげる。
- 旧集落センターの活用で、アートスクールを行い、卒業しても居場所になるような場所づくりをする。